

先日の仲秋の名月を見逃し、とても残念に思っていたのですが、朝暗いうちならまだ綺麗に見えるかと思い、5時ごろに起き



てみると、欠け始めた月がくっきりと南の空を照らしていました。さらにその横にオリオン座がはっきりと見え、季節は確実に進んでいるなど思わせてくれました。日の出が5時49分、日の入が17時54分と随分と日も短くなりました。過ごしやすくなる反面、寒暖の差も大きくなり衣服の調節が難しい時期になります。新型コロナ新規感染者も減少傾向にあるとはいえ、風邪などひいている場合にはありませんので、生活のリズムを整え、衣服の調節をしっかりと、さらに感染防止対策をしっかりと、充実した秋を過ごしましょう。

さて、23日には男女ソフトテニス部が県新人大会出場をかけた団体東播地区予選に出場しました。グル

ープリーグを戦い、男子は11チーム女子は10チームが県大会に出場できるよう。男子はグループリーグを2位で通過し、代表決定戦に臨むことになったようです。是非とも県大会出場を決めてきてください(試合は25日です)。一方、女子は個人戦からの流れを変えることができず、グループリーグ敗退が決まりました。力はあったと思うのですが、上手くかみ合わなかったようです。今一度来春に向けてしっかりと立て直してください。



そして野球はベスト8をかけて県立伊丹高校と対戦しました。ピッチャーの堀田投手は前回に引き続き好投。5回まで付け入るスキを与えませんでした。攻撃では2回に芝本選手のタイムリー(写真左)で先制。3回には福谷選手の3塁打(写真右)で2点目を取り、優位に試合を進めました。さらにグラウンド整備後の6回には相手のエラーからチャンスをつかみ、勝股選手、福谷選手の長打で得点を重ね、最後は笠井選手の2ランホームラン。一挙9得点のビッグイニングとなりました。6回裏の相手攻撃を吉田投手が(写真右)きっちりと押さえ、コールドでの勝利。ベスト8に勝ち上がりました。ここからは近畿大会をかけた戦いとなります。25日・26日と試合は続きますが、悲願の

甲子園出場に向け、チーム一丸となって頑張ってください。

この時期は新人大会が始まり、佳境を迎えます。その試合を見に行くたびに思うのは、1、2年生が主体となっているだけに完成度もそれほど高くなく、力を持っていると思われるチームや選手でも力を存分に発揮できなかったり、歯車の狂いを修正できず残念な結果になってしまったりすることがあるということです。だからこそ、諦めない姿勢で頭を使って、試合中でも修正できるようにしていけば勝機はあると思っています。今の力をしっかりと発揮することに集中し、何をすべきかをしっかりと考えていけば試合を経験しながら自らの成長につなげていくことができます。失敗やミスはつきものですが、それを取り返す工夫をしてこそ成功への道につながると思います。諦めたらそこで終わり。これから新人戦や、選手権を迎える運動部、作品等を発表する文化部、それぞれ最後まで諦めない姿勢で取り組みを進めていってください。よろしくお祈りします。

先日、SNSに関する生徒指導事案についてのスクールロイヤーの話を聞く会に参加する予定でしたが、緊急事態宣言を受け、会議が中止となりました。しかしながらその時の資料が送られてきてMicrosoft Teamsを使って話の内容を聞くことができ、学校としての生徒指導上の注意点について確認をすることができました。写真や動画の掲載に関する注意事項は勿論理解しておく必要はありますし、SNSで人を傷つけることがないようにしなければなりません。次年度からのタブレットの導入にあたってはそういったことも含めて今後検討を進めていきたいと思います。不用意な書き込みや写真等の掲載は注意してください。よろしくお祈りします。